

飛龍 相撲団体 5位入賞

相撲団体の飛龍は連々決勝で、優勝した文徳(熊本)に力の差を見せつけられた。先鋒(せんぼう)と一陣が敗れ、序盤で不利な戦いを強いられた。副将の土屋主将は「勝てない相手ではなかった。悔しい」と唇をかんだ。決勝トーナメントは予選とメンバーを変えた。個人戦に出場した土屋と大桑を副将、大将に置き、1、2回戦をいずれも快勝した。昨年の3位を超えることはできなかったが、大桑は「チームが一つになったと感じた。良い経験ができた」と顔を上げた。土屋や大桑ら3年は、

優勝校との差を痛感



相撲団体決勝トーナメント2回戦 副将戦を制する飛龍の土屋(右)＝那覇市の県立武道館

1年時に2018年3月の全国選抜大会で初優勝を経験。栗原監督は「総体5位は」チームが一本となった結果。3年生は

(青木功太)

相撲
▽団体決勝トーナメント1回戦
飛龍 4-1 岐阜農林(岐阜)
○武井 山藤

▽同決勝トーナメント2回戦
飛龍 3-2 高岡向陵(富山)
○武井 堀井
○岡田 村崎
上條 吉田
土屋 おしだし 八嶋
大桑 きりかえ 南山
▽同準々決勝

文徳(熊本) 4-1 飛龍
○川上 岡田
○花岡 土屋
○草野 武井
○山本 上條
川副 大桑